

上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画素案におけるプラスチックの取り扱いについて

現在、環境省では令和2年度から中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環小委員会を実施しており、令和3年11月22日に第11回を実施している状況です。

その会議の資料の中で、「市区町村は容器包装リサイクル法ルートを活用した分別収集物の再商品化を可能とする。」とし、プラスチック製容器包装以外のプラスチック使用製品を回収する方向性が示されております。（下図参照）

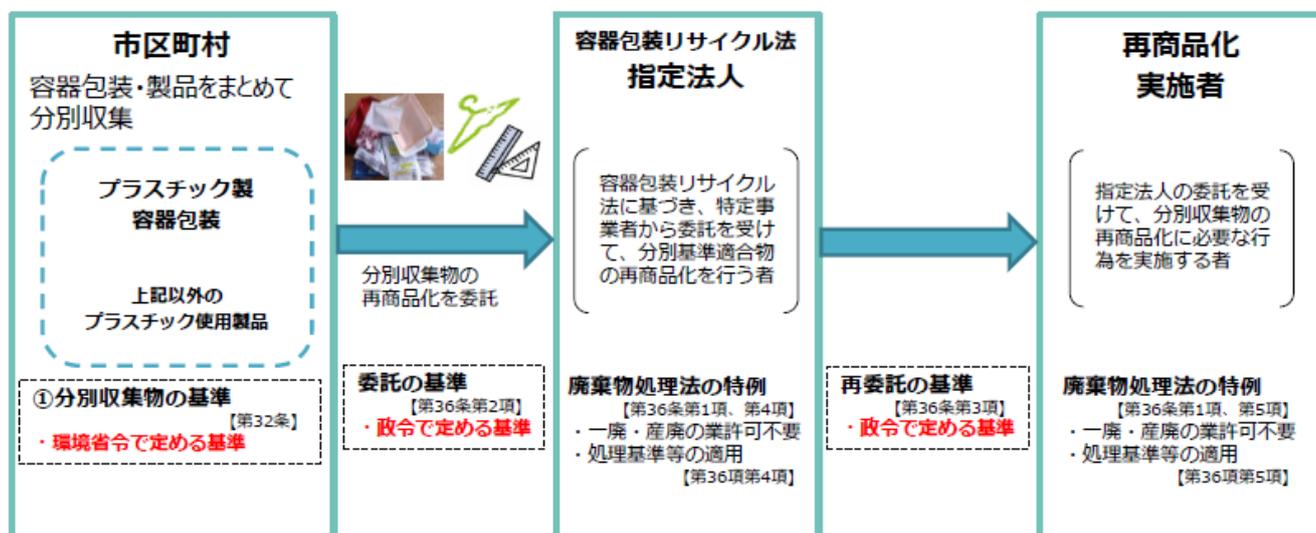
この資料の中では具体的にどういったプラスチックが分別の対象になるのかはまだ記載されていないため、今後の国の状況に応じて両市町で検討していく必要があります。

※ただし、ペットボトルはプラスチックの品目からはずされております。

そのため、上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画素案では、プラスチック製容器包装のみを分別することとしており、その他のプラスチックについても今後の国の方針に併せて柔軟に対応することと記載しております。

【市区町村による分別収集・再商品化】（プラスチック資源としての一括回収）

- プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化を促進するため、**容器包装リサイクル法ルートを活用した分別収集物の再商品化**を可能にする。



環境省 中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環小委員会、産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会プラスチック資源循環戦略ワーキンググループ合同会議（第11回）

資料1「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の政省令・告示についてより
https://www.env.go.jp/council/03recycle/11_1.html